

「情報端末の持ち帰り」にルールはありますか？

文部科学省は、GIGA スクール構想の実現に向けた各自治体等のICT利活用状況について令和3年度末の状況を把握するため、自治体等を対象とした各種調査結果を公表しています。その中の「自治体におけるGIGAスクール構想に関連する課題アンケート概要」によると、児童生徒の1人1台端末環境がほぼ整った義務教育段階における課題の上位3項目は、以下の通りです。

「学校の学習指導での活用」「教員のICT活用指導力」「持ち帰り関連」

この調査によると、1人1台端末環境による教育実践の蓄積があっても無くても、上位の3項目は同じでした。皆さんの学校でも同様の課題を抱えているのではないのでしょうか。各学校で情報を共有し、児童生徒の資質・能力（情報活用能力）を伸ばすために頑張ってください。

1人1台端末環境が進んでいる昨今ではありますが、端末の長時間利用による児童生徒の健康面が心配されます。文部科学省では、端末利用に当たっての児童生徒の健康への配慮等に関する啓発リーフレットを作成しています。児童・生徒用のリーフレットにまとめられている「5つの約束」は以下の通りです。

- ① タブレットを使うときは姿勢よく
- ② 30分に1回はタブレットから目を離す
- ③ 寝る前にはタブレットは使わない
- ④ 自分の目を大切にする
- ⑤ ルールを守って使う



また、ご家庭で気をつけていただきたいことについて、保護者用のリーフレットも作成しています。以下に一部を抜粋しました。各学校において、ぜひ活用ください。

□ 端末を使うときの健康面の注意点について

端末を使うときの健康面のポイントを、本人の習慣として身につけられるよう、学校でも指導しますが、特に低年齢のお子さまの場合などは、保護者の方にも気にかけていただくと効果的です。



注意点！

- ① 目を、画面から30cm以上、離して使う
☞ そのためには、良い姿勢を保つことが重要です。お子さまの成長に応じて、机と椅子の高さを正しく合わせることも必要です。
 - ② 30分に1回は、20秒以上画面から目を離して、遠くを見る
 - ③ 部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整する
☞ 一般には、夜に自宅で使用する際には、昼間に学校の教室で使用する場合よりも、明るさ（輝度）を下げます。
☞ 画面の反射や画面への映り込みを防止するために、画面の角度も調整します。
- ※①や②は、紙の本や資料を読む場合でも重要です。



□ 端末の利用時間等のルールについて

ご家庭で過ごす時間全体の中で、ご家庭で用意したデジタル機器も含めて、端末を、いつのよう



＜最低限、守っていただきたいこと＞

- ・少なくとも、寝る1時間前からは、デジタル機器の利用を控えるようにします。
☞ 睡眠前に強い光を浴びると、入眠作用があるホルモン「メラトニン」の分泌が阻害され寝つきが悪くなります。
- ・学校で配られた端末は、学習に関係ない目的では使いません。

健康面に気をつけて使う場合でも、デジタル機器を使う時間があまりに長くなると、人と人とのリアルな関わり合いや、自分の感覚や行為を通して理解する学習、地域社会での体験活動などの時間も、少なくなってしまいます。
成長期のお子様のバランスの良い発達の見点からも、（使い方にもよるため、一概に何時間までならOKということはいえませんが）、お子様がさまざまな経験や活動ができるよう、ご家庭でもデジタル機器全般の使い方について、この機会にお考えください。

□ 端末の安全な利用について

お子様のインターネット使用時や、スマートフォンを持たせる際には、インターネット上の犯罪等の被害者や加害者にならないようにするなど、適切な指導が必要です。
☞ フィルタリングは、お子様にとって不適切な情報へのアクセスを遮断したり、インターネットでのトラブルを防いだりするのに役立ちます。
ご家庭で用意するデジタル機器に、携帯電話会社などが提供するフィルタリングサービスを活用することについてもご検討ください。

年度更新の時期が迫っています！～|人|台情報端末～

文部科学省では、GIGA スクール構想におけるクラウド等を利用した|人|台端末環境では、従来とは異なる年度更新作業が必要となることから、「GIGA スクール構想 年度更新タスクリスト」を作成しています(二次元コード参照)。ポイントとして次の4点を挙げています。

① アカウント(ID)の更新

複数のアカウントが存在することを見落とさずに、年度更新作業においてアカウント相互の順番が決まっているものがあることにも留意し、全体のスケジュールと作業手順を明確にしておくことが重要です。

② 端末の更新

各学校に必要な端末は新年度の見込みの児童生徒数で整理し、年度更新作業については、年度末までにほぼ完了させておき、新年度は転入・転出に応じて微調整での対応で済ませるような状態にしておくことが重要です。

③ データの取扱い

進級、転出入、進学、卒業時等において、学習成果物等をどのように扱うかについても方針を整理しておくことが重要です。

④ 組織体制の整備

学校設置者が中心となって体制・分担を明確化し、年度更新作業を進めるとともに、校長や学級担任等においても、年度更新の考え方や新年度の準備状況等の全体像について理解することが重要です。

また、「StuDX Style」では、|人|台端末環境で、すでに年度更新を実施した自治体の情報を紹介しています(二次元コード参照)。年度更新作業のヒントとしてお役立てください。各教育委員会や各学校の担当者のご負担は相当なものです。実情に合わせて、計画的に年度更新の準備を進めていただければと思います。



令和4年度のリアルタイム配信終了！～MナビTV情報教育チャンネル～

令和4年6月から新メンバーで再開していた「MナビTV情報教育チャンネル」ですが、令和4年12月でリアルタイムの配信は一区切りです。それぞれの担当者が工夫を凝らした番組を放送してきました。以下に番組名や番組のコンセプト等についてまとめました。視聴回数は4番組の合計で5000回を超えました。リアルタイムで見ることができなかった方は、右記の二次元コードから視聴することができます。是非、ご覧ください。



番組名	コンセプト	番組数	視聴回数
はじめての iPad Season2	はじめて iPad で授業をされる先生方を支援する。iPad の基本から授業への活用までを考える。	10	857
ICTを活用した校務効率化	GIGA スクール構想によって大幅に進んだ教職員の ICT 環境を用いて、様々な校務効率化を図れるようなICTの活用方法を紹介する。	10	1054
もっと! プログラミング	これからプログラミングを教える先生方のために、Google Colaboratory を用いて、Python 言語について紹介する。	7	2076
おらほの ICT	ICTを活用した教育実践に奮闘している学校・教員等を取り上げ、ICT活用のための情報提供を行う。	7	1450
令和5年1月現在 合計		34	5437

編集後記

Mナビ新聞-情報教育通信-第11号はいかがだったでしょうか。今回は、「情報端末の持ち帰り」「年度更新」をメインにお伝えしました。令和4年度も残り2ヶ月となりました。今年度のまとめの時期です。来年度の飛躍に向けて、しっかりと力を蓄えましょう。なお、Mナビ新聞では皆様からのご感想・ご意見・ご要望を募集しております。右記の二次元コードからフォームに記入していただけると幸いです。次号もお楽しみに! (第11号担当:戸羽)

